# 新「北九州市教育大綱」の全体像　【令和６年４月１日策定】

## 社会課題
- ✓ 少子高齢化・人口減少
- ✓ 将来の予測が困難
- ✓ ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化
- ✓ Society5.0社会の到来
- ✓ 価値観の多様化

## 各主体が抱える課題

### 子ども
- ✓ 子どもの抱える問題の多様化・複雑化（不登校、特別支援、ｷﾞﾌﾃｯﾄﾞ、外国人）
- ✓ 自己肯定感の低下

### 教職員
- ✓ なり手不足（大量退職や受験者の減少、働き方改革）
- ✓ 子どもが抱える多様な問題への対応

### 社会環境
- ✓ 施設の老朽化や災害への対応（ﾚｼﾞﾘｴﾝｽ）
- ✓ 学校の福祉的役割（居場所、ｾｰﾌﾃｨﾈｯﾄ）

### 保護者・地域・企業
- ✓ 家庭を取り巻く環境の変化や少子化
- ✓ 希薄化する地域のつながり

## 教育のﾐｯｼｮﾝ
- ✓ 幅広い知識・教養　✓ 豊かな情操と道徳心　✓ 健やかな身体
- ✓ 個人の価値の尊重　✓ 自主・自律　✓ ｼﾞｪﾝﾀﾞｰ平等
- ✓ 自他の敬愛・協力　✓ 郷土愛　✓ 他国の尊重

## 時代の要請
- ✓ 社会の変化に対応できる人材の育成
- ✓ 誰一人取り残されない共生社会
- ✓ こども基本法の理念「こどもまんなか」の実現

**不易流行**

## 新・教育大綱　～「こどもまんなか」で、質の高い教育環境の充実を～

**3** 誰一人取り残さない学びと、先端的な学びを進める

**5** 地域とのつながりの中で、こどもを見守り、支え育てる

**こどもの可能性を引き出す**

- こどもの意見･多様性を尊重
- 結果よりプロセスを大事に
- 好きなことに夢中になれる環境を
- 学びの機会の保障と、新しい時代の学びを

**1** 全てのこどもにとって「居心地の良い学校」をつくる

**2** 失敗を恐れず挑戦し、志と人間力を高められる環境をつくる

**4** 学校の自律性と教職員のウェルビーイングを高める

今のこどもたちが大人になったときに･･･

### 正解のない時代に生きる力（未来を創る能力･レジリエンス）

- ●自分なりの**価値観･哲学**
- ●他者への**思いやり**や**多様性**の理解
- ●自分で**問いを見つけ、解決**する力
- ●本来持っている**可能性の発揮**

**個々のウェルビーイング**

- ○社会に新たな**価値を創造**し、「新たな解」を生み出す
- ○様々な**社会課題を解決**し、地域･国際社会に貢献する

**社会のウェルビーイング**

**1**
- ◆こどもを枠にはめず、一人ひとりのこどもの違いを尊重する。
- ◆こどもが人を支え、人から支えられ、自分の身を守れるように育てる。
- ◆学校の中でも外でも、安全で安心して過ごせる居場所をつくる。

**2**
- ◆こどもを「社会の構成員」として尊重し、こどもの声を聴き、学校の運営に活かす。
- ◆こどもや教師自身も安心して挑戦し、成長の糧とできる環境を整える。
- ◆こどもの「なぜ？」と思う気持ちを大事にし、好きなことに夢中になれる環境を作ることで、知的好奇心を高め、思考力を育てる。
- ◆社会に開かれた教育、学校外の学びや、放課後活動の充実を進める。

**3**
- ◆確かな学力と健やかな体を育成する。
- ◆不登校児童生徒の支援、インクルーシブ教育システムの実現、夜間中学の設置運営などを進める。
- ◆人権、ジェンダー平等、多様性の理解を深め、他者を尊重する態度を養う。
- ◆グローバルな視野で活躍するための資質･能力の育成と、国際理解教育の推進を図る。
- ◆個々の才能を伸ばすため、ＩＣＴを日常的に活用し、リアルとデジタルの効果的な融合を進める。
- ◆探究学習やＳＴＥＡＭ教育など、文理の枠を超えた教科横断的な学びの充実に取り組む。

**4**
- ◆教職員がこども一人ひとりの学びを最大限に引き出すため、専門的知識や実践的指導力、情報活用能力、ファシリテーション能力など、時代の変化に対応して求められる資質･能力を身につける。
- ◆働き方改革やＤＸの推進、ジェンダー平等、専門人材の活用、職場における心理的安全性の確保を通じて、働きやすく、教職員同士がつながり、力を発揮できる職場づくりを進める。
- ◆学校が、児童･生徒や地域との信頼関係のもとで自律的で特色のある学校づくりを進められるよう、　人材の確保･育成や職場環境づくり等、教育委員会がバックアップする。

**5**
- ◆地域･企業、ＮＰＯ等と連携し、地域（自然･歴史）を知る機会の創出、サードプレイスの確保、キャリア教育･ＳＴＥＡＭ教育の推進、放課後活動の充実、部活動の地域移行等に向けて取り組む。
- ◆コミュニティ･スクールの充実･拡大を通じて、学校と地域との連携による学校運営を進める。
- ◆教育に関する情報を社会全体で共有し、理解を深めながら取組みを進めていけるよう、情報を積極的に発信する。